



▲消防団員など500人が集結。出場団員は全力を出し切りました!

・小型ポンプの部

・ポンプ車の部

前で発揮することができました。

山本方面隊第2分団

財田方面隊第4分団 財田方面隊本部分団

入賞された皆さん、おめでとうございます。

準優勝 山本方面隊本部分団

"身近に潜む危険の認識を" 市防災講演会を開催

3/11 市民交流センター

高知大学理学部の松岡裕美准教授を招いて防災講演会を開 催しました。講演では、昨今の大地震と今後起こり得る南海 地震との違いと共通点、地震に伴い発生する他の危険性を分 かりやすく説明しました。講師の松岡先生は、「自分の住む 場所にどのような災害の危険が潜んでいるのかを、必ず防災 マップで確認して下さい」と、会場の聴衆に呼びかけました。



春を告げる伝統行事



▲独特の低い姿勢で射るのが特徴



▲射手を見守る3役 (左から本頭、保存会会長、射手頭)



国指定重要無形民俗文化財の"生里のモモテ"は、射手の所作や儀礼など、千 年以上もの間厳格に守り続けられています。海水で身を清めた5人の射手は、前 方にある扇などの的を射ぬいて地域の安泰を祈り、厄を払います。「けんかモモテ」 とも呼ばれるこの行事は、祭りがにぎやかになるほど大漁と豊作になると言われ ています。射手が的を外すと周りからはやじや叱咤が飛び交う一方、的を射ぬい たときは、大きな歓声が上がり、射手に惜しみない拍手が送られます。今年も大 勢の観客が詰めかけ、終日、にぎやかで活気のあるモモテが行われました。

「全国児童福祉週間|標語

最優秀に三谷蕗唯さん(二ノ宮小2年)の作品 3/3 神



週末はきょうだいと農作業を手伝っています▲

「できること たくさんあるよ きみのてに」

厚生労働省が募集する平成29年度の児童福祉週間の標語に、全 国 9,930 点の応募の中から、二ノ宮小学校 2 年生の三谷蕗唯さん

4人きょうだいの一番年上の蕗唯さんは、「お母さんが忙しくて 手が離せないとき、小さな妹を抱っこして寝かしつけたり、洗濯物

> を畳んだり、自分にできることをして います」と、普段から標語のことばを 実践しています。

標語は、5月5日の「こどもの日」 からの1週間、全国的な広報や啓発ポ スター、関連事業で活用されます。



市ホームページで 三豊市

経済産業省資源エネルギー庁主催

かべ新聞コンテストで 詫間小学校5年生の作品が 最優秀賞(資源エネルギー庁長官賞)受賞

3/13 三豊市役所

経済産業省資源エネルギー庁主催のかべ新聞コンテストで、 817 作品の中から詫間小学校5年生の作品が最優秀賞を受賞しま した。

かべ新聞は渡辺花音さん、則包土和さん、岡田早記さんの3人が、 太陽光や風力、水力などの再生可能エネルギーに着目し、本で調 べたり、実験したりした結果をまとめました。

審査では、未来のエネルギーについて調べたことや、手書きの 図や絵を使って上手にまとめたことが評価されました。



▲左から渡辺花音さん、則包十和さん、岡田早記さん

青年海外協力隊での2年間の活動を報告 2/16 三豊市役所

青年海外協力隊員として派遣されていた森佑一さん(高瀬町)と 丸岡猛志さん(豊中町)が2年間の任期を終え、活動報告のため市 役所を訪れました。

派遣先のヨルダンで環境教育を行った森さんは、「人々のごみに 対する意識をすぐに変えることは難しいと感じましたが、目につい たごみを意識して拾うようになった人もいました」と成果を報告。 また、モンゴルで農作物の栽培指導を行った丸岡さんは、「現地で 珍しいスイカやナスなども植えたので、今後は調理方法を教える人 材が必要だと感じています」と報告しました。



◀森さんは、ヨルダンの 学校を回り、環境に対す る指導を行いました



モンゴルでキュウリ などの野菜栽培の指 導を行う丸岡さん▶